



維新 伝心

みなさんと共に
維新の挑戦!



池下卓大阪府議会議員事務所
〒569-0077
高槻市野見町3-3 興喜第2ビル302号
Tel : 072-670-0410 Fax : 072-670-0411
E-mail : info@iketaku.jp

『健康マイレージ事業』島本で実現

超高齢化社会が進む中、医療費や介護費用の高騰、介護離職といった問題がクローズアップされている。これらの問題を解決するためには、様々あるが、池下はご年配の方々の特定検診、がん検診の受診率を高め、病気の早期発見をすることで、健康寿命を伸ばし、元気に長生きしてもらうことが重要だと考える。

昨年夏、池下は島本町と意見交換し、府議会でも質問をした。その結果、大阪府から島本町への補助が決定し、平成28年度から島本町にて「健康マイレージ事業」が開始されることになった。



健康マイレージ事業とは

健康づくりに関する取り組みへの参加や、健康増進に関する要件を満たした場合にポイントを付与し、一定のポイントに達した住民に特典を付与する制度のことです。

副首都インフラ戦略 PT 活動中!!

昨年末、大阪維新の会府議団は、大阪の「副首都」化を目指すため、「副首都インフラ戦略プロジェクトチーム(PT)」を発足させ、池下もこのPTに選抜された。東京に比べ、まだまだインフラ(リニア新幹線、高速道路、鉄道、空港、首都高のバックアップなど)整備が不十分な大阪。

大阪府議会では「つながる・のばす・早く着く」をモットーに、大阪の成長のために代表質問が行われ、松井知事からの前向きな答弁を得ることができた。

正予算案を提出したが、同様の議案が市議会で大幅に減額修正されたのを受け、撤回していた。

大阪維新の会府議団は17日、大阪の「副首都化」を目指すため、「副首都インフラ戦略プロジェクトチーム(PT)」を発足させた。西野修平府議がリーダーを務め、来年2月議会の代表質問に向け、副首都にふさわしいインフラ整備のあり方などについて意見をまとめるという。

11月の大阪ダブル選で、松井一郎知事と吉村洋文次期大阪市長が大阪の「副首都」

▲平成27年12月18日付産経・毎日新聞より



Profile

池下卓 -いけしたたく-

経歴

昭和50年 高槻市山手町で父・節夫、母・友子の次男として生まれる。
高槻市立磐手小学校、高槻市立第八中学校
府立高槻北高校卒業、龍谷大学大学院修了。
専門学校講師、税理士事務所を経て税理士資格取得。大阪府議会議員(2期目)
現在は、高槻市古曽部町に在住。

役職

教育常任委員、商工労働常任委員、決算特別委員
政務調査役員、府民文化常任委員などを歴任。
総務役員(平成26年度~現在)
健康福祉常任委員会副委員長(平成27年度~現在)
地域政党 大阪維新の会 財務局長
国政政党 おおさか維新の会 監査役

【その他】

高槻市消防団 磐手分団山手班、商工会議所青年部に所属。



「政治をもっとおもしろく、わかりやすく」をモットーに、大阪の政策や、地域の魅力、議員活動の報告など様々な情報を動画で配信します。YouTubeやFacebookページ等からは是非ご覧ください。

大阪の政策や地域の魅力を動画で配信!

いけたくチャンネル

検索



デジタル化時代にコピー用紙の無駄遣い

島本町役場では、毎年約400万枚、金額にして230万円相当の紙を購入し、毎年4.5トン以上の紙を廃棄処分しています。そのすべてが、窓口で発行する住民票など以外の、職員や議員だけが内部の連絡や事務などで使用する紙です。さらに、インク・トナー代160万円がかかっており、議会資料だけでも年間6万枚以上が使用され、処分されています。

大阪府議会では大阪維新の会が先進的にペーパーレス化をはかるため、タブレットを使用し、現在では他政党でもその動きが広がっています。町職員の資料作成の労力と時間外勤務削減のためにも、ペーパーレス化を強く推進していくことを議会で提案し、町からも前向きな回答を得られました。これからも時代に見合った提言をしていきます。

学校の耐震化問題の経過

以前より議会に提議し、全国の市町村に遅れをとっていた小中学校の耐震化問題ですが、島本町でもようやく着工しました。(第三小学校を除く)残る第三小学校については、構造上耐震工事が不可能なため建て替えが考慮されており、早期に遂行されるように訴えていきます。



大阪府市など導入
iPad 議会にも革新!?
全額政調費には疑問の声
iPadを手に、議員の評判は上々だ。導入には政調費が使われており、本業以外にも活用できるだけに金額を助っことは疑問の声もある。「事務を助けて、iPadをばかしてほしい」と、6月5日、府議会最大会派の大阪維新の会（維新）府議団の議員団総会議室では、初・中・上級者向けに8回の説明会が開いた。「初級」参加の多くは、当

新製品のiPadを手に、講義会に臨む大阪維新の会の議員ら（5月、大阪市中央区（撮影：寺本俊樹））

議員の評判は上々だ。導入には政調費が使われており、本業以外にも活用できるだけに金額を助っことは疑問の声もある。「事務を助けて、iPadをばかしてほしい」と、6月5日、府議会最大会派の大阪維新の会（維新）府議団の議員団総会議室では、初・中・上級者向けに8回の説明会が開いた。「初級」参加の多くは、当

週回数が多い「長考、議員だが、「機嫌オンチ」を自認する若手の姿も。iPadをめぐって、議員らも「どこ」など質問が相次いだ。府議団で導入を提案したのは、影大が議会資料公開日にしていたiPadの地下早稲田（約11歳）も、子ども達もiPadを気に入っており、「取っ手おきたい議会議料はほんの一部分、本当に紙の無駄と思っていた」と語る。

昨年8月から導入し、大阪府議団でも議員は上々だ。

24.6.21 産経

▲平成 24 年 6 月 21 日付 産経新聞より



関 重勝 せきしげかつ

1966 年生まれ、島本町広瀬在住。
大阪府警察官として 20 年勤務後、行政書士を経て、島本町議会議員。
総務建設水道常任委員会、民生委員推進委員会などを歴任。
大阪維新の会高槻・島本支部役員